

医学雑誌『ランセット』グループ日本特集
2040 年に向けた保健医療・外交政策の再設計を提言

ブリーフアー略歴

野村周平

東北大学災害科学国際研究所・大学院医学系研究科 グローバルヘルス政策学
分野 教授<座長>

東北大学災害科学国際研究所および医学系研究科でグローバルヘルス政策
研究室を主宰する。世界約 170 カ国・地域から 2 万人超が参画し、病気・
けが等による健康損失を推計する国際共同研究「世界の疾病負荷研究

(GBD)」の日本研究を主導。47 都道府県別分析や健康日本 21、グローバルヘルス戦略など
の政策議論に関わってきた。米国スタンフォード大学・Elsevier が公表する「世界で最も影響
力のある科学者トップ 2%」に 2021 年以降継続して掲載されている。世界的医学誌『ランセ
ット』が設置する保健システム評価に関する国際委員会の委員も務め、今回の『The Lancet
Regional Health – Western Pacific』日本特集では 2 本の政策レビューの企画を主導した。



五十嵐 中

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 特任教授、横浜市立大学データサイエ
ンス研究科 ヘルスデータサイエンス専攻 客員准教授

2002 年東京大学薬学部薬学科卒業、2008 年東京大学大学院薬学系研究科
博士後期課程修了、2008 年から東京大学大学院薬学系研究科特任助教、
特任准教授、2019 年より横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット准教
授、2024 年東京大学大学院薬学系研究科特任准教授を経て、2026 年 6
月より現職。

専門は薬剤経済学。医療経済ガイドラインの作成・個別の医療技術の費用対効果評価・QOL
評価指標の構築など、多方面から意思決定の助けとなるデータの構築を続けてきた。著書に、
「医療統計わかりません (東京図書, 2010)」「わかってきたかも医療統計 (東京図書, 2012)」「
薬剤経済わかりません (東京図書, 2014)」などがある。



坂元 晴香

聖路加国際大学公衆衛生大学院客員准教授<国際政策論文リードオーサー>

医師、博士 (公衆衛生学)。札幌医科大学医学部卒業後、聖路加国際病院
で内科医として勤務。その後、厚生労働省国際課及び母子保健課に勤
務。国連総会や、世界保健機関 (WHO: World Health Organization) 総
会など各種国際会議へ日本代表として参加した他、2016 年には G7 伊勢
志摩サミットや G7 神戸保健大臣会合の会合運営にも関わる。2014 年には、世界銀行より奨
学金を受けハーバード大学公衆衛生大学院にて公衆衛生学修士 (MPH: Master of Public
Health) を、2021 年には東京大学にて公衆衛生学博士を取得。現在は、聖路加国際大学公衆
衛生大学院客員准教授、第 26 期日本学術会議連携会員、WHO 西太平洋事務局 コンサルタン
トを併任。

